

40年を感じ、その先の未来へ

第12代校長 村上 直幸

西に広がる丹沢の山々とその向こうにそびえる雄大な富士の山は、開校以来40年間変わらずその素晴らしい姿を私たちに見せてくれています。昭和58年4月1日に開校し、昭和、平成、令和の三世代を歩んできた本校は、歴代の教職員の方々、保護者・PTAの皆様、地域の皆様に愛され、支えられて、今日を迎えることができました。そのご尽力とご努力に心から感謝申し上げるとともに、深く敬意を表したいと思います。

およそ10年前に東日本大震災を経験した私たちは、その後現在に至るまでの間にも度重なる自然災害や気候変動、そして新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックと、まさに先が見えない世の中を生きてきました。そして、この先も子どもたちはAIの活躍に代表される超スマート社会において多くの予測困難な課題に直面していくことでしょう。その渦中を生きぬくための力を身につけさせることに今、力を注いでいます。40年目の節目を迎えたことで改めて本校のこれまでを振り返り、この先の未来を創造していく新たな一歩を皆様とともに踏み出そうと思います。今後とも本校のさらなる発展のために変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「創立40周年記念誌（翠の風）」より

